

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 関係法規・制度 | | | 科目No | TSA01 |
|--|---|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 15 | 単位数 | 0.5 |
| 担当教員 | 中村孝浩 | | | | |
| 実務経験教員 | 中村孝浩 | | | | |
| 実務内容 | 教科免許取得者 | | | | |
| 授業の概要 | 美容師になろうとする人にとって一番重要な法律は、美容師法である。社会における法の役割、法と国家の関係、法の種類及び衛生法規について学ぶ。また、社会で行われている様々な法律行為を理解する基礎づくりに役立つことも意図している。 | | | | |
| 到達目標 | 国と地方行政の関係、衛生行政及び保健所について学ぶことにより、保健所などの行政機関によって指導監督を受け、行政機関による指導のもとで法律法令を守った理容を行うことの重要性の理解。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 社会生活における法の役割 | 人と社会生活・法とは何か | | | | |
| 法の形式 | 憲法と日本の法令体系・条約・法律・命令・自治法規 | | | | |
| 理容師法・美容師法と付属法令 | 法律・政令・省令・条例・規則 | | | | |
| 衛生行政の意義と歴史 | 行政とは何か・衛生行政の意義・我が国における衛生行政の歴史 | | | | |
| 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 | 衛生行政の分類・生活衛生行政 | | | | |
| 衛生行政を担う行政機関 | 一般衛生行政の仕組み・厚生労働省の役割 | | | | |
| 人(理容師・美容師)に関する規定 | 概説・養成施設の入所資格・養成施設・試験 | | | | |
| 施設(理容所・美容所)に関する規定 | 理容所・美容所の開設・開設者が講ずべき衛生処置 | | | | |
| 立入検査と環境衛生監視員 | 立入検査・環境衛生監視員 | | | | |
| 罰則 | 罰則について・美容師法の罰則 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| 日本理容美容センター 関係法規・制度 教科書 ワークブック 美容師法関係法令集 各種プリント | 出席率 | | 20% | | |
| | 取組姿勢 | | 20% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 60% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師国家試験(学科) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 衛生管理 | | | 科目No | TSA02 |
|--|---|-------|----|------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 立川梢・原田あゆみ・川口せい子・田中健志 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川梢・原田あゆみ・川口せい子・田中健志 | | | | |
| 実務内容 | 教科免許取得者 | | | | |
| 授業の概要 | 美容師と公衆衛生との結びつき、発展の歴史を理解して対人的な予防医学を学習します。又、環境衛生の意義を理解し美容室(サロン)における構造設備や衣服の衛生及び、廃棄物処理や環境保全対策について学習します。更に感染症に対しての正しい知識を身に付けて、具体的な予防方法も学習します。 | | | | |
| 到達目標 | 美容業では不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いるので公衆衛生の維持と増進への責務の大切さを理解できるようになります。また、保健所と環境での衛生が学べて、適正な実施方法を身につける。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 公衆衛生の概要 | 公衆衛生の意義と課題・公衆衛生発展の歴史 理容師、美容師と公衆衛生の理解・保健所と理容業・美容業 | | | | |
| 保健 | 母子保健・成人、高齢者保健・精神保健 | | | | |
| 環境衛生 | 環境衛生の概要・空気環境・衣類、住居の衛生・下水道と廃棄物 衛生害虫とネズミ・環境保全 | | | | |
| 感染症の総論 | 人と感染症・病原微生物・感染症の予防 | | | | |
| 感染症の各論 | 理容業・美容業と感染症・主な感染症・具体的な対策の例 | | | | |
| 消毒法総論 | 消毒とは・消毒の意義・理容、美容の業務と消毒との関係 消毒法と適用上の注意 | | | | |
| 消毒法各論 | 理学的消毒法(殺菌法)・化学的消毒法(殺菌法) 優れた消毒法とその実施上の注意 | | | | |
| 消毒法実習 | 各種消毒薬・理容所、美容所の消毒の実際 理容所、美容所の清潔法の実際 | | | | |
| 理容所及び美容所における衛生管理要領 | 衛生的取扱い等・自主的管理体制 | | | | |
| 理・美容所の自主管理点検表 | 総復習 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| 日本理容美容センター 衛生管理 教科書 ワークブック 各種プリント | 出席率 | | | 20% | |
| | 取組姿勢 | | | 20% | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | | 60% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師国家試験(学科) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 保健 | | | 科目No | TSA03 |
|--|---|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 緒方直樹・北崎幸子・尾川真帆・山本真広 | | | | |
| 実務経験教員 | 緒方直樹・北崎幸子・尾川真帆・山本真広 | | | | |
| 実務内容 | 教科免許取得者 | | | | |
| 授業の概要 | 保健とは健康を守り保つことであり、健康を保持増進するために必要な知識や実践するための方法を知ることが、保健を学ぶ目的的ひとつである。人が生まれてから個人としてあるいは社会の一員として活動していくためには、健康であることが重要であることを学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 健康保持及び増進に必要な知識を習得するために、健康な人体の構造と機能について、頭頸部と皮膚を中心に理解。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 頭部・顔部・頸部の体表解剖学 骨格器系 | 人体各部の名称・頭頸部の体表解剖学 骨の種類と構造・骨の連結・骨格器系とそのはたらき | | | | |
| 筋系 神経系 | 筋の種類と特徴・主な骨筋とそのはたらき・表情筋と表情運動 神経系の成り立ち・中枢神経系とそのはたらき 末梢神経系とそのはたらき | | | | |
| 感覚器系 血液と免疫系 | 視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚 血液のあらまし・免疫のあらまし・アレルギー | | | | |
| 循環器系 呼吸器系 | 心臓のあらまし・血液循環の仕組み・血液循環経路 リンパ管系の仕組みとはたらき 呼吸器系のあらまし・気道・肺の仕組みとガス交換・呼吸運動 | | | | |
| 消化器系 | 消化器系のあらまし・消化管の仕組み・消化管のはたらき 消化管と物質代謝 | | | | |
| 皮膚の構造 | 皮膚の表面・皮膚の断面・表皮・表皮と真皮の境・真皮 皮下組織と皮下脂肪・皮膚の部位差 | | | | |
| 皮膚の付属器官の構造 皮膚の循環器系と神経系 | 毛・脂腺(皮脂腺)・汗腺・爪 皮膚の血管・皮膚のリンパ管・皮膚の神経 | | | | |
| 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 | 対外保護作用・体温調節機能・知覚作用と皮膚反射・分泌排泄作用 呼吸作用・吸収作用・貯蔵作用・免疫・解毒・排除作用・再生作用 毛のはたらき・爪のはたらき | | | | |
| 皮膚と皮膚付属器官の保健 | 皮膚と全身状態・皮膚と精神・皮膚と栄養・皮膚と嗜好品 皮膚と体内病変・皮膚の水分と脂の状態・皮膚・付属器官とホルモン 皮膚の保護と手入れ・毛の保護と手入れ・爪の保護と手入れ等 | | | | |
| 皮膚と皮膚付属器官の疾患 | 皮膚の異常と病態・湿疹・皮膚炎・蕁麻疹・薬疹・口唇の疾患 温熱、寒冷による皮膚障害・角化異常による皮膚疾患 色素異常による皮膚疾患・血管腫(アカアザ)・脂腺母斑等 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| 日本理容美容センター 保健 教科書 ワークブック 各種プリント | 出席率 | | 20% | | |
| | 取組姿勢 | | 20% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 60% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師国家試験(学科) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 香粧品化学 | | | 科目No | TSA04 |
|---|---|-------|----|-------------------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 15 | 単位数 | 0.5 |
| 担当教員 | 奥のぞみ・立花浩 | | | | |
| 実務経験教員 | 奥のぞみ・立花浩 | | | | |
| 実務内容 | 教科免許取得者 | | | | |
| 授業の概要 | 香粧品は、毛髪、肌、爪などの様々な部位において直接使用するものであり、カラーリングやバーマなどでは毛髪の化学構造を変えるなど際立った作用を発揮するものも存在し、使い方によっては重大な損傷を与える事故につながることもある。香粧品は工業製品であるが、多くの規制があることを学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬剤が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製剤の安定性も含めた安全性について学び、身に付ける。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 香粧品総理論 | 香粧品とは・香粧品と造形・香粧品の効果と使用プロセス | | | | |
| 香粧品の使用による症状 | 香粧品のトラブルについて・化学物質について・工業製品について | | | | |
| 香粧品の定義と法規制 | 医薬部外品と化粧品の定義・香粧品の法規制の変遷 | | | | |
| 香粧品の成り立ち | 水と親水性溶媒 | | | | |
| 水と親水性溶媒 | 物質と溶液・水・アルコール | | | | |
| 油性原料 | 油脂・ロウ類・炭化水素・その他の油性原料 | | | | |
| 界面活性剤 | 基本的性質・種類・応用 | | | | |
| 高分子化合物 | 種類と特性・応用 | | | | |
| 色材・香料・配合原料 | 発色・無機顔料・有機合成色素・光輝性顔料・天然色素・香料の種類 防腐剤、殺菌剤、酸化防止剤、金属イオン封鎖材、緩衝液 | | | | |
| その他の機能性配合物 雑貨原料 | 保湿剤(湿潤剤)・紫外線吸収剤・收れん剤・ビタミン・合成樹脂 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| 日本理容美容センター 香粧品 教科書 ワークブック 各種プリント | 出席率 取組姿勢 課題・試験 成果物評価等 | | | 20% 20% 60% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師国家試験(学科) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 美容文化論 | | | 科目No | TSA05 |
|---|---|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 15 | 単位数 | 0.5 |
| 担当教員 | 立川梢・北崎幸子・川口せい子・岩崎未世 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川梢・北崎幸子・川口せい子・岩崎未世 | | | | |
| 実務内容 | 教科免許取得者 | | | | |
| 授業の概要 | '美容'の「容」は「すがた、かたち」の意味を持ち、これに美をともなう「美容」とは、髪、顔、体形などの美しさ、また美しくすることをさす。もともとは男女の両方を対象とする言葉であったが、「理容」という言葉の誕生、その普及につれて、主に女性を対象と使われるようになった背景などを学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 日本、西洋に関わらず、歴史の中で創り上げられてきた「美しさ」を理解し、美容師として、美の成り立ちやありかたを知るなかで、技術を学ぶうえで、また施術をするうえで理解を深め、新しいデザインの創造の糧にする。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 日本の理容業・美容業の歴史① | 理容業、美容業の登場・江戸時代の理容業、美容業 近代の理容業、美容業・現代の理容業、美容業 | | | | |
| 日本の理容業・美容業の歴史② | 日本の理容業、美容業の歴史年表 | | | | |
| ファッショングループ編① | 縄文、弥生、古墳時代 古代(飛鳥、奈良、平安時代) 中世(平安時代末期、鎌倉、室町、戦国時代) | | | | |
| ファッショングループ編② | 近世(江戸時代)(明治時代)(大正時代)(昭和20年まで) | | | | |
| ファッショングループ編③ | 現代(1945年～1960年代)(1960年代～1970年代) (1980年代～1990年代)(2000年代～2010年代) | | | | |
| ファッショングループ編④ | 古代エジプト・古代ギリシア、ローマ・古代ゲルマン・中世ヨーロッパ | | | | |
| ファッショングループ編⑤ | 近世(16世紀)(17世紀)(18世紀)(18世紀末～19世紀初め) (19世紀) | | | | |
| ファッショングループ編⑥ | 現代(1910年代～1920年代)(1930年代～1940年代) (1940年代後半～1950年代)(1960年代)(1970年代)(1980年代) (1990年代～2010年代) | | | | |
| 礼装の種類① | 和装の礼装 | | | | |
| 礼装の種類② | 洋装の礼装 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| 日本理容美容センター 文化論 教科書 ワークブック 各種プリント | 出席率 | | 20% | | |
| | 取組姿勢 | | 20% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 60% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師国家試験(学科) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 美容技術理論 | | | 科目No | BTA06 |
|---|--|-------|----|------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 60 | 単位数 | 2 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | 教科免許取得者 | | | | |
| 授業の概要 | 美容師資格を取得し、一人前の技術者になるため、幅広く勉学を修め長い人生(職業)を通して、よりよい美容の「技術と心」を、お客様に提供できる美容師を目指し、実現するための基礎的な理論と技術を学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 美容の基礎技術の理論を学び、国家試験課題とサロンの基礎知識の必要性を理解します。習得する事によって時代の流れに関係なく、新しいヘアスタイルを生み出せる応用力が身につきます。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 美容技術理論を学ぶにあたって | 美容理論と美容技術・作業姿勢・人体各部の名称 | | | | |
| 美容用具 | 美容技術における用具 | | | | |
| シャンプーイング | シャンプー・トリートメント・ヘッドスパ | | | | |
| ヘアカッティング | ヘアカッティングとは・ヘアカッティングの基礎理論・カット技法 | | | | |
| パーマネントウェーピング | パーマネントウェーピングの歴史と現在・理論・分類・注意事項 | | | | |
| ヘアセッティング | ヘアセッティング・ヘアシェーピング・ヘアウェーピング | | | | |
| ヘアカラーリング | 概論・種類・染毛のメカリズム・注意事項・酸性染毛料 | | | | |
| エステティック | 概要・皮膚生理と構造・フェイシャルケア技術・ボディーケア | | | | |
| 日本髪 | 日本髪の由来、名称、種類と特徴、調和、結髪技術・かつら | | | | |
| 着付けの理論と技術 | 着付けの目的・礼装・着物と季節・帯・小物・各部の名称と技術 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| 日本理容美容センター 美容技術理論①②・美容実習①② 教科書 ワークブック 各種プリント | 出席率 | | | 20% | |
| | 取組姿勢 | | | 20% | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | | 60% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師免許(学科試験) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 運営管理 | | | 科目No | TSA07 |
|--|--|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 12 | 単位数 | 0.4 |
| 担当教員 | 萩野清美・立花浩・秋吉和佳子・中村孝浩 | | | | |
| 実務経験教員 | 萩野清美・立花浩・秋吉和佳子・中村孝浩 | | | | |
| 実務内容 | 教科免許取得者 | | | | |
| 授業の概要 | 「経営」や「マネジメント」という言葉で語られるものであり、より美容のサービスにより顧客満足を実現することで、店を守り、発展させていく取り組みをいう。そのために必要な知識や技能を学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学びまた、人を雇うことの責任や働くうえで求められることを理解し、顧客満足させるサービスとは何かを考えそれをどう実現するかについて考える力を身に付ける。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 経営とは・経営者とは | 経営とは何か・経営者の責任・経営の目的・経営戦略 | | | | |
| 理美容・美容業の経営について | 業界の概要・理容業・美容業を取り巻く社会の変化 理容業・美容業における競争・競争の未来図・理容業・美容業の顧客 | | | | |
| 資金の管理 | 資金管理の重要性・収支と損益・会計の考え方・コストを管理する 税金について・税金の申告 | | | | |
| 人という資源 | 人という資源とは・人の能力を高める・人のやる気にさせるために 給与・待遇、福利厚生・労働者の権利 | | | | |
| 従業員としての視点から | 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任 社会保険・キャリアプランの重要性・仕事をするうえで考えるべきこと | | | | |
| 健康・安全な職場環境の実現 | 健康管理の基礎・理容・美容の仕事と健康 理容業・美容業に特徴的な健康課題 理容・美容の作業環境に関する健康問題 | | | | |
| サービス・デザイン | サービスを考えるうえで重要なこと・基本・システム システムの詳細・サービスの範囲・新しいサービスをデザインする | | | | |
| サービス・マーケティング | 理容業・美容業のマーケティング・マーケティングリサーチ サービスの改善・コスト・コミュニケーション・コンビニエンス 情報コミュニケーション技術の活用について | | | | |
| サービスにおける人の役割① | 接客についての理解・よい接客のための準備・接客の要点 | | | | |
| サービスにおける人の役割② | 接客の実践・接客におけるトラブルと対応 接客で発生が予想される問題 問題を深刻化させないための対策、対処 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| 日本理容美容センター 運営管理 教科書 ワークブック 各種プリント | 出席率 | | 20% | | |
| | 取組姿勢 | | 20% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 60% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師国家試験(学科) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 国家試験課題1(W)ワインディング* | | | 科目No | BTA08 |
|--|--|-------|-----|-------------------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 150 | 単位数 | 5 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 国家試験課題のスタイル構成、技術、準備時間、準備物を学習します。更にワインディングの知識を理解したうえでコンテストに出場し、サロンレベル以上の技術習得をします。又、パーマをかける仕組みやスタイルとの組み合わせの必要性が学べます。 | | | | |
| 到達目標 | パーマネントウェーブの基礎理論を理解して、国家試験課題の合格レベルの技術が身に付く様になります。また、多くの校内・コンテストに出場することで、技術レベルの向上と試験当日に対応できる精神力が身に付きます。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ワインディング理論 | ワインディングの構成・概要 | | | | |
| 道具の使い方 | 美容用具の説明・美容用具の取り扱い | | | | |
| ブロッキング | ブロッキングの理解 | | | | |
| シェーピング、ストランドの基本 | ワインディングの基本技術の取得 | | | | |
| ワインディング | 20分巻き・18分巻き・15分巻きができるようになる | | | | |
| 上巻き、下巻き | 上巻きの巻き方・下巻きの巻き方 | | | | |
| 国家試験課題スタイル構成 | 国家試験の概要・既定の確認 | | | | |
| 1000本巻き | 回数理論による技術の向上と反復練習 | | | | |
| 試験課題のチェック項目と対策 | 試験課題のチェック項目と対策 | | | | |
| 国家試験模擬試験 | 模擬試験 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| ワインディング道具一式 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論1・美容実習1 美容師技術試験課題「技術の解説」 テクニカルマニュアル 各種プリント | 出席率 取組姿勢 課題・試験成果物評価等 | | | 20% 20% 60% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師免許(実技試験) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 国家試験課題2(P)オールウェーブセッティング* | | | 科目No | BTA09 |
|--|--|-------|------------|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 150 | 単位数 | 5 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 国家試験課題のスタイル構成、技術の条件、準備時間、準備物を学習します。ウェーブの基礎技術では美容の作業の姿勢や立ち位置を身に付けます。また、カールの基礎技術でピンパーマの理論を習得して、スタイルで大切なボリュームのバランスを学習します。 | | | | |
| 到達目標 | オールウェーブセッティングの基礎理論を理解して、国家試験課題の合格レベルの技術が身に付く様になります。頭の丸さの理解が美容技術では重要であり、美容技術の基本であるフィンガーウェーブにより頭の丸みを理解します。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ヘアセッティングの理論 | ヘアセッティングの理論を理解する | | | | |
| 道具の使い方 | 美容用具の説明・美容用具の取り扱い | | | | |
| オールウェーブ構成 | オールウェーブの構成 | | | | |
| オールウェーブ作成 | オールウェーブの作成 | | | | |
| ピンカール5種類の技術の習得 | ピンカール5種類の技術習得 | | | | |
| オールウェーブセッティング作成 | 25分で作品を作り上げる | | | | |
| 試験課題のチェック項目と対策 | 試験課題のチェック項目と対策 | | | | |
| 技術練習 | 国家試験課題の習得 | | | | |
| 国家試験衛生、道具の説明 | 衛生の概要と使用道具の説明・道具の準備 | | | | |
| 国家試験模擬試験 | 模擬試験 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| オールウェーブセッティング道具一式 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論1・美容実習1 美容師技術試験課題「技術の解説」 テクニカルマニュアル 各種プリント | 出席率 取組姿勢 | | 20% 20% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 課題・試験 成果物評価等 | | 60% | | |
| 美容師免許(実技試験) | | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 国家試験課題3(C)カッティング* | | | 科目No | BTA10 |
|--|--|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 120 | 単位数 | 4 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 国家試験課題のスタイル構成、技術の条件、準備時間、準備物を学習します。ヘアカッティングにおける道具の使い方、正しい姿勢、カット手順を理解して、ウェットカットでの基本スタイルを学習します。 | | | | |
| 到達目標 | ヘアカッティングの基礎理論を理解して、国家試験課題の合格レベルの技術が身に付く様になります。カットの美容用語や知識が身に付き、カットラインと長さ・角度の関係が解るようになります。更にカッティングで基本であるカットスタイルを学びます。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ヘアカッティングの理論 | 国家試験課題集から課題の説明 | | | | |
| ブロッキング | 国家試験課題のブロッキングの仕方 | | | | |
| レイヤーカット作成 | レイヤーカット | | | | |
| セイムレイヤー | セイムレイヤーを理解し、時間でカット | | | | |
| 国家試験課題スタイル | スタイルカット練習 | | | | |
| 試験課題のチェック項目と対策 | 試験課題のチェック項目と対策 | | | | |
| 技術練習 | 国家試験課題のスタイル習得 | | | | |
| 国家試験衛生、道具の説明 | 衛生の概要と使用道具の説明・道具の準備 | | | | |
| 使用ウイッグの手入れ方法 | 国家試験課題に使用するウイッグの手入れ | | | | |
| 国家試験模擬試験 | 模擬試験 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| カット道具一式 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論1・美容実習1 美容師技術試験課題「技術の解説」 テクニカルマニュアル 各種プリント | 出席率 | | | 20% | |
| | 取組姿勢 | | | 20% | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | | 60% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師免許(実技試験) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|----|-----------------|-------|
| 科目名 | 実務実習 | | | 科目No | BTA11 |
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | サロンへの挨拶の為のアポイントから実際のサロンワークを通して、美容師の仕事を体験し理解を深め自分の将来を考えます。その中で学生の間に身につけなくてはいけないスキル、人間力を考察し、自分の進路について問題意識や目的意識をもち主体的に職業として関わっていく姿勢を育成させ将来の美容師像を明確にし、夢から目標に変えます。 | | | | |
| 到達目標 | 教育理念『一に人格、二に技術』のもと、挨拶・返事・時間・5Sを実際のサロンワークで実践します。美容師の仕事をしっかりと理解し、就業意識を高め一人前の社会人としてのマナーやサロンワークに必要なスキルを身につけます。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 1年次サロンへのアポイントのとり方 | サロンの説明を希望を取る | | | | |
| ご挨拶・身上書・承諾書のお願い | 書類の書き方・提出の仕方を説明 | | | | |
| サロン選び | 実習希望サロンの選定 | | | | |
| アシスタント業務の理解 | 現場実習で必要な知識を学ぶ | | | | |
| 現場実習 | 実習先にてサロンワーク | | | | |
| フォローアップ | 振り返りと感想・各自発表 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | | | | 評価基準 | 評価率 |
| 名札・サロン様指定のもの | | | | 出席率 | 70% |
| | | | | 取組姿勢 | 10% |
| | | | | 課題・試験 成果物評価等 | 20% |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 美容師免許(実技試験)・接客スキル(検定) | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | シャンプー | | | 科目No | BTA13 |
|--|---|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 人頭による練習を重ねる事によって手や体の動き、シャワーノズルの使い方などを身に付けます。体の立ち位置や姿勢、手の動きなどについて理解し、実習で施術する事によって、接客を踏まえたシャンプー技術を学びます。 | | | | |
| 到達目標 | シャンプーの目的やメカニズムを理解し、相モデルでの練習を重ねることで、人それぞれの頭の形や毛髪診断が理解できるようになります。更に、カラーシャンプーやパーマシャンプーと技術に応じたシャンプーができるようになります。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| シャンプーについて | シャンプーイングの目的・施術の内容による目的の違い | | | | |
| クロス掛け | タオルを掛ける～クロスをかける | | | | |
| サイドシャンプー技術のプロセス | すすぎ・シャンプーイング・リンス | | | | |
| バックシャンプー理論・技法 | すすぎ・シャンプーイング・リンス | | | | |
| タオルドライとターバン | サイドシャンプー・バックシャンプー | | | | |
| カラーシャンプー技法 | カラーシャンプーの概要・毛髪科学 | | | | |
| エマルジョン(乳化) | 乳化の説明・実践 | | | | |
| プレリンス技法 | プレリンスの実践 | | | | |
| チェンジリンス技法 | チェンジリンスの実践 | | | | |
| O.designs実習 | サイドシャンプー実践・バックシャンプー実践・テスト | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| シャンプー道具一式 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論1・美容実習1 サイドシャンプー テクニカルマニュアル バックシャンプー テクニカルマニュアル 各種プリント | 出席率 | | 20% | | |
| | 取組姿勢 | | 20% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 60% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | キャリアデザイン1 | | | 科目No | BTA15 | | |
|---------------------|---|-------|-----------------|------|-------|--|--|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 | | |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | | | |
| 授業の概要 | 働くことの目的や、学生と社会人の違いを理解し、職業観や人生観について考えます。就職活動の考え方取り組み方を学びます。 | | | | | | |
| 到達目標 | 社会で直面する様々な課題に相対し、自立する力を身につけます。また、美容業界で求められている人材像を理解した上で、社会のルールやマナーをベースに行動できるようになります。自己分析や履歴書添削により就職準備と自分自身のアピールができます。 | | | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | | | |
| 信頼される人になる | 「人格」の必要性 | | | | | | |
| 学校は社会人としての準備期間 | チームで協力する大切さを学び、実践することで尊重と感謝の気持ちを持つ | | | | | | |
| 基本動作 | 様々な方法で自身の考えを深めることで自己アピールできる力を身につける | | | | | | |
| ビジネスマナー | エニアグラムで自己分析し自分を知る | | | | | | |
| 礼儀 | 美容業界の職種や現状を自ら研修することで就職後のキャリアを考える | | | | | | |
| 社会人としての「報 連 相」とは | 報告・連絡・相談の重要性 | | | | | | |
| 行動力を強化する | 1分間スピーチの実施 | | | | | | |
| 自分の強みを作る | 実践し、就職に繋げる | | | | | | |
| インターンシップで学んだこと | 今後の美容師の目標と就職活動のスケジュールを立てる | | | | | | |
| 自己PR | 履歴書の書き方、自己PR作成 | | | | | | |
| 教 材 | | | 評価基準 | 評価率 | | | |
| テキスト『職業とキャリア』各種プリント | | | 出席率 | 50% | | | |
| | | | 取組姿勢 | 20% | | | |
| | | | 課題・試験 成果物評価等 | 30% | | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | ベーシックスタイル | | | 科目No | BTA17 |
|---|--|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 90 | 単位数 | 3 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | アイロンの使い方・巻き方・カールの出し方の基礎から学び、スタイルに合わせたアイロン技術とデザインカラを身につけることが出来ます。カット・カラーでは道具の使い方やお手入れまでの取り扱いと薬剤の調合を学習します。 | | | | |
| 到達目標 | アイロンの仕組みを理解し、カールの大きさやスタイルによってカールの出し方、毛先の処理を学び流行に合わせたアイロンワークを学び習得します。ヘアカラーのメカニズムと薬剤の種類と知識を理解して、アルカリカラー・ブリーチ剤の塗布が出来るようになります。カット技術はシザーズの使い方から行程が分かるようになります。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| アイロンセッティング① | アイロンカールの基本技術 | | | | |
| アイロンセッティング② | ストレートアイロンを使ったスタイリング | | | | |
| アイロンセッティング③ | 太いロールアイロンを使うスタイリング | | | | |
| ヘアカラーリング① | カラー理論・カラー剤の種類を理解 | | | | |
| ヘアカラーリング② | ヘアカラーのタイプ別特徴・染毛剤使用時の注意事項 カラー剤の種類を理解し薬剤調合 | | | | |
| ヘアカラーリング③ | ワンタッチ塗布トレーニング | | | | |
| ヘアカッティング① | シザーズの開閉・ブロッキング・セクショニング | | | | |
| ヘアカッティング② | ガイドラインの作成・各シェープの角度の理解・カットトレーニング | | | | |
| プロードライスタイリング | プロードライの基本・ストレート・根元の立ち上がり・毛流の方向づけ | | | | |
| まとめ | ワンレンジスカット & ブロー テスト | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| カット道具一式・カラー道具一式・ブロー＆ヘアアレンジ道具 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論1・美容実習1 美容師技術試験課題「技術の解説」 テクニカルマニュアル 各種プリント | 出席率 | | 20% | | |
| | 取組姿勢 | | 20% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 60% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 就職セミナー | | | 科目No | BTA18 |
|-------------------|--|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 講義 | 授業コマ数 | 60 | 単位数 | 2 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 就職活動についての注意事項・求人票の見方を学習します。会社説明会ではレポートによるスキルアップを図り、本番である2年次の就職活動につなげます。更に履歴書や志望動機の書き方、会社説明会とサロン見学で得た情報の管理能力を学習します。 | | | | |
| 到達目標 | 就職の採用プロセスとサロンワークの形態を理解して、就職先希望を決めることが出来ます。サロンの仕組みや説明会により自分自身の目標と面接までの準備が出来るようになります。また、自己分析により自分自身の強みに気づく事が出来ます。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 就職活動準備(求人票1) | 業界について学ぶ、求人票の見方説明 | | | | |
| サロン見学の方法 | サロン見学の仕方、申し込み方法など説明 | | | | |
| 履歴書作成 | 履歴書の書き方を説明し作成する | | | | |
| 発進式(就職の心構え) | 美容師講和「働くとは」 | | | | |
| 就職説明会 | 企業の方からのサロン説明 | | | | |
| 就職講習 | 就職サイトの方から就職について、サロン選び | | | | |
| 企業ガイダンス | 全国から企業様 来校 | | | | |
| 自己理解と他己理解 | 自分自身を振り返り、自己理解する。他者から見た自分を理解する | | | | |
| 就職面談 | 就職先のアドバイス・就職先を第三希望まで決定する | | | | |
| 面接練習 | 面接のマナー・自己アピールができるようになる | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| 各種プリント | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | メイク | | | 科目No | BTA20 |
|---|--|--|-------|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | | 授業コマ数 | 30 | 単位数 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | メイクアップの基礎理論をマスターすることを目的としています。皮膚の構造・肌質分析・色彩・化粧品の特徴について学び肌トラブルやメイクアップに関して、プロとして自信をもってアドバイスできるようになることを目指します。 | | | | |
| 到達目標 | 骨格理論からファンデーションの色合わせ、その人にあった色選びや入れ方など、基礎技術から似合わせまでを細かく学び実際に人に行うことでパフや筆の道具の使い方の理解も出来るようになります。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| メイクアップ概論 | 皮膚の生理と構造・フェイスプロポーション | | | | |
| 色彩について | パーソナルカラー | | | | |
| 用具について | 用具の種類と消毒方法 | | | | |
| メイクアップ① | スキンケア・ベースメイクアップ | | | | |
| メイクアップ② | ベースメイクアップ | | | | |
| メイクアップ③ | アイブロウメイクアップ | | | | |
| メイクアップ④ | アイメイクアップ | | | | |
| メイクアップ⑤ | リップメイクアップ | | | | |
| カラーバランス | 肌質別修整メイクアップ | | | | |
| フルメイク | 似合わせメイクアップ | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| メイク道具一式 日本理容美容センター 教科書「美容技術理論2・美容実習2」 各種プリント | 出席率 | | | 20% | |
| | 取組姿勢 | | | 20% | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | | 60% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 ヘアリストコース必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | カットテクニック | | | 科目No | HSC02 |
|--|--|--|-------|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | | 授業コマ数 | 30 | 単位数 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | ヘアカットを通してお客様が求める美しさを的確に理解し、お客様との間にしっかりととしたコンセンサスを得られるよう、技術を学び知識を深める。 | | | | |
| 到達目標 | カット技術の基本であるグラデーションとレイヤーが切れるようになります。毎年変わるトレンドヘアスタイルの習得、カット技法の組合せを理解し、コンテスト作品の作成が出来ます。更に似合わせの法則を理解しお客様への施術が出来るようになります。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| カットの基礎知識 | 道具説明、使い方 | | | | |
| ワンレンジススタイル | ワンレンジスカット展開図と手順 | | | | |
| グラデーションスタイル | グラデーションカット展開図と手順 | | | | |
| レイヤースタイル | レイヤーカット展開図と手順 | | | | |
| カット技法の組合せ | カット技法の組み合わせスタイル作成 | | | | |
| カール・ストレートアイロンの使用法 | アイロンを使う仕上げ方 | | | | |
| 似合わせの法則 | モデルの顔に合わせて考える | | | | |
| 展開図・企画書の作成 | スタイル作成を考え企画書を仕上げる | | | | |
| 企画書作成 | スタイル作成を考え企画書を仕上げる | | | | |
| コンテスト対策 | スタイル作成 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| カット道具一式 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論1・美容実習1 テクニカルマニュアル 各種プリント | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 トータルピューティー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | ヘアアレンジ・メイクアップ | | | 科目No | HMC03 | |
|-------------------------|--|--|-------|------|-------|---|
| 授業形態 | 実習 | | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | | |
| 授業の概要 | ヘアアレンジ・メイクアップを通してお客様が求める美しさを的確に理解し、お客様との間にしっかりととしたコンセンサスを得られるよう、技術を学び知識を深めます。 | | | | | |
| 到達目標 | アイロンセッティング・アップスタイル・メイクアップの基礎を中心に学びアイロンセッティングでは一定の大きさのカール、アップスタイルでは長さのある毛髪をまとめ上げ、メイクアップでは日常からコンテストまで使用できる技術を身に付けます。 | | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | | |
| アイロンセッティング (アイロンカール) | アイロンカールの基礎技術 | | | | | |
| アップスタイル | アップスタイルの基本技術 | | | | | |
| 流行のアレンジ | トレンドやニーズを調べる方法 | | | | | |
| アイロンワーク (ストレートアイロン) | ストレートアイロンを使ったスタイリング | | | | | |
| アイロンワーク | アイロンによるウェーブ作成 | | | | | |
| 似合わせ理論 | 骨格を理解し、似合わせの理論と実践 | | | | | |
| 時短アレンジ | 無造作感のあるアレンジからアイロンやゴムなしのアレンジ | | | | | |
| メイク① | 顔タイプ診断から自分へ似合うメイクを実践 | | | | | |
| メイク① | コンテストやショー用メイクの各パートポイント | | | | | |
| テーマ作品作成 | スタイル作成 | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | | |
| ヘアアレンジ道具一式・メイク道具一式 | 出席率 | | | 10% | | |
| 日本理容美容センター | | | | 10% | | |
| 教科書・美容技術理論①②・美容実習①② | | | | | | |
| テクニカルマニュアル | 課題・試験 成果物評価等 | | | 80% | | |
| 各種プリント | | | | | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | | |

■ 美容科1年次 カラーリスト コース必修科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | カラー・テクニック | | | 科目No | CLC02 |
|--|--|--|-------|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | | 授業コマ数 | 30 | 単位数 |
| 担当教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務経験教員 | 立川・緒方・立花・秋吉・奥・原田・川口・北崎・河村・入江・山本・尾川・岩崎・田中 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | ヘアカラーを通してお客様が求める美しさを的確に理解し、お客様との間にしっかりととしたコンセンサスを得られるよう、技術を学び知識を深める。 | | | | |
| 到達目標 | カラー・デザインコース授業(毛髪理論・カラー理論)を中心に行い、薬剤塗布技術から作品制作までを行います。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 毛髪理論 I | 毛髪の構造と働きについて学ぶ | | | | |
| カラー理論 I | カラー色彩学とカラー剤の分類について学ぶ | | | | |
| 塗布技術 | 根元から毛先まで一色に染め上げる技術、ワンメイクを学ぶ | | | | |
| ブリーチ | 脱色剤と脱染剤について学ぶ | | | | |
| オンカラー | 髪の上から色をのせ、色の出方を学ぶ | | | | |
| 作品制作 | デザインカラーを考えウイッグを作成する | | | | |
| 毛髪理論 II | 髪質の特徴とダメージレベルの見分け方を学ぶ | | | | |
| ホイルワーク | ウイーピングによるカラーの効果を学ぶ | | | | |
| 仕上げ方法 | ゲストのオーダーに合わせたカラー選定を学ぶ | | | | |
| 作品制作 | モデルにあったデザインカラーを考えコンテストに参加する | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| カラー道具一式 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論①②・美容実習①② テクニカルマニュアル 各種プリント | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | まつ毛エクステンション | | | 科目No | BTS11 |
|---|--|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 秋吉和佳子・尾川真帆・北崎幸子・川口せい子・奥のぞみ・岩崎未世 | | | | |
| 実務経験教員 | 秋吉和佳子・尾川真帆・北崎幸子・川口せい子・奥のぞみ・岩崎未世 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | 日本理容美容教育センターの認定する「まつ毛エクステンション」の資格取得を目指し、確かな知識と技術を習得することで活躍の場が広がります。確かな知識と基礎技術を身につけ、認定試験合格とサロンでの即戦力をを目指します。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| まつ毛エクステンションの概要 | 注意と説明事項 | | | | |
| 道具の使い方 | 道具の説明、使い方 | | | | |
| 衛生管理 | 消毒や病原菌 | | | | |
| 保健 | 目にに関する知識、病気 | | | | |
| 保健 | まつ毛・皮膚に関する知識、接触皮膚炎 | | | | |
| カウンセリング | カウンセリングの重要性、注意と説明事項 | | | | |
| エクステンションの装着 | テーピング、エクステンションの装着 | | | | |
| エクステンションのリムービング | エクステンションの装着確認、リムービング | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| 教育センター指定のまつ毛エクステンション技術道具 教育センター発行のテキスト 各種プリント | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | ABE まつ毛エクステンション技能検定 | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 美容週間プログラム早期育成コース(カラー) | | | 科目No | BTS12 |
|-------------------|--|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 各サロン様 | | | | |
| 実務経験教員 | 各サロン様 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | 適切なカラー技術の習得…基本の塗布方法や技術の習得を目指します。実践力の強化…現場に即したカラー施術向上・即戦力となる技術習得を目指します。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ベーシックカラー① | 白髪染め(グレイカラー)の特徴理解と塗布レッスン | | | | |
| ベーシックカラー② | ファッショナルカラーの特徴理解と塗布レッスン | | | | |
| 基礎練習① | 塗布における基本的な手順(ブラシワーク・カップワーク・薬剤理解)使用方法 | | | | |
| 基礎練習② | 目的における基本的な手順(塗布手順・塗布量)など | | | | |
| ブロー | カラー後の基本的ハンドブロー～仕上げ | | | | |
| ベーシックカラー③ | メーカー・ディーラーによるセロテクの知識理解と手順 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| カラー道具一式 各種プリント | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | アイブロウトリートメント2・3級検定試験 | | | 科目No | BTS13 |
|---|--|-------|----|-------------------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 奥のぞみ・原田あゆみ | | | | |
| 実務経験教員 | 奥のぞみ・原田あゆみ | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | 基礎知識、技術を学び、一般社団法人 アイブロウトリートメントの合格を目指します。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| 検定について | 進め方、準備物 | | | | |
| 衛生管理と道具の使い方 | 道具の説明、使い方 | | | | |
| アイブロウの基本的知識 | 各名称と眉を形づくる要素 | | | | |
| 光のアイブロウ | 特徴と技術、アイブロウピースの装着 | | | | |
| 影のアイブロウ | 特徴と技術、アイブロウピースの装着 | | | | |
| 光と影のアイメイクアップ | 特徴と技術 | | | | |
| 光と影のアイメイクアップ | モデル | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| 株式会社トニーズコレクション アイブロウ技術道具 テキスト 各種プリント | 出席率 取組姿勢 課題・試験 成果物評価等 | | | 10% 10% 80% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 一般社団法人 アイブロウトリートメント | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | シャンプーソムリエ・アカデミー エレメント | | | 科目No | BTS14 |
|-----------------------------|---|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 原田あゆみ・奥のぞみ | | | | |
| 実務経験教員 | 原田あゆみ・奥のぞみ | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | ヘアケアの基礎知識、毛髪化学や皮膚科学の基礎知識を学び、美しいヘアデザインを維持するためのヘアケアの方法を学びます。また、シャンプーの温度や流しの時間など頭皮を健康にするためのシャンプーテクニックまで習得する。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ヘアケアの基礎知識 | 美しいヘアデザインを維持するための基礎知識を学ぶ | | | | |
| 皮膚科学(頭皮環境について) | シャンプー剤によって起こる皮膚トラブルについて | | | | |
| 毛髪化学 | 髪の毛の構造を理解する | | | | |
| 界面活性剤の特性の理解 | 5種類の界面活性剤キッドを使用し特徴を理解する | | | | |
| シャンプー剤商品表示の理解 | 成分表示についての知識を学ぶ | | | | |
| シャンプー剤・トリートメント剤の基礎知識 | シャンプー剤・トリートメント剤の種類や特性を学び、使い方やトラブルについて学ぶ | | | | |
| シャンプーソムリエ流シャンプー技術 | 健康な髪の毛を維持するためのシャンプーテクニックを学ぶ | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| シャンプー道具一式 テキスト 各種プリント | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | 一般社団法人 シャンプーソムリエ協会シャンプーソムリエ・アカデミー エレメント | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | イーラルキュアリストアカデミーベーシック認定 | | | 科目No | BTS15 |
|--------------------------------|--|-------------------------------|----|-----------------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 川口せい子・岩崎未世 | | | | |
| 実務経験教員 | 川口せい子・岩崎未世 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | イーラルによるベーシックキュアリスト認定テストの合格を目指します。 | | | | |
| テーマ | | 内 容 | | | |
| キュアリストについて(学科) | | キュアリスト認定の説明 | | | |
| エイジングケア理論(学科) | | エイジングケア理論について | | | |
| ヘッドキュアの流れ(実技) | | 基礎技術の習得 | | | |
| 基礎知識(学科) | | 皮膚科学・毛髪科学理論 | | | |
| マッサージの習得(実技) ヘッドキュアプロセスの習得 | | ヘッドキュアプロセスの習得 | | | |
| 基礎知識(学科) | | 血流・リンパ・ツボなどの基礎知識・イーラル商品知識 | | | |
| 基礎知識(学科) | | カウンセリング力、お客様に最適なメニュー、商品の提案 | | | |
| 相モデル通し練習(実技) | | 相モデルでの実技練習 | | | |
| キュアリストについて(学科) 認定テスト(学科・実技) | | 学科・実技テスト | | | |
| ハニーキュア | | ハニーパックを使用したキュアメニュー提案が出来るようになる | | | |
| 教 材 | | | | 評価基準 | 評価率 |
| イーラルマニュアルブック(テキスト) | | | | 出席率 | 10% |
| | | | | 取組姿勢 | 10% |
| | | | | 課題・試験 成果物評価等 | 80% |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | イーラル キュアリスト認定 | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | ワークメイキング | | | 科目No | BTS16 |
|--------------------------|---|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 北崎幸子・楠田聖 | | | | |
| 実務経験教員 | 北崎幸子・楠田聖 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | コンテストのウイッグ部門に参加し、受賞を目的とした選択授業です。全国の専門学生が挑戦するコンテストのウイッグ部門に出場し、イメージを形にする力を身に付けます。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ベーシックカット | グラデーション・レイヤー・ワンレンジスカットの理解 | | | | |
| アドバンスカット | デザインをカットの展開図に落とし込む | | | | |
| ベーシックカラー | カラーの塗布練習 | | | | |
| ブロー・スタイリング (アイロン操作など) | ストレートアイロンでのスタイリング・様々なスタイリング方法 | | | | |
| アドバンスカラー[ブリーチ] | 14Lまでのハイトーン作成 | | | | |
| アドバンスカラー[補色] | 補色を理解し黄味消し | | | | |
| コラージュ・企画書作成 | コンテスト作品の企画書・デザイン考案 | | | | |
| 本番展示用WIG作成[カット] | コンテストデザインカット | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| カット道具 | 出席率 | | 10% | | |
| ブロー道具 | 取組姿勢 | | 10% | | |
| カラー道具 | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| スタイリング剤 | | | | | |
| 各種プリント | | | | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | ICHIMヘアカラーマスター検定 | | | 科目No | BTS17 |
|-------------------------------|--|-------|----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 梅澤将大 | | | | |
| 実務経験教員 | 梅澤将大 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | ヘアカラーリングでの薬剤の知識・色の特徴など理解を深め、2級まで検定の取得を目指します。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ヘアカラーマスターについて | ヘアカラーマスター検定の概要と説明・第1章座学授業 | | | | |
| 毛髪と色彩 | 第1章の復習テストと毛髪と色彩についての座学 | | | | |
| 仕上がりの色とカラー材の色 | 第2章の復習テストとカラー材の色と仕上がりの色の座学 | | | | |
| ヘアカラーマスター3級 | 3級の模擬テストと復習を行い本試験 | | | | |
| ヘアカラーデザイン | 第1章ヘアカラーデザインについての座学 | | | | |
| ヘアカラーデザインの心理学 | 第1章の復習テストとヘアカラーリングの心理学についての座学 | | | | |
| ヘアカラーリングの似合わせ | 第2章の復習テストとカラーリングの似合わせについての座学 | | | | |
| ヘアカラーマスター2級 | 2級の模擬テストと復習を行い本試験 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| ヘアカラーマスター検定3級・2級教科書 各種プリント | 出席率 | | | 10% | |
| | 取組姿勢 | | | 10% | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | | 80% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | ICHIMヘアカラーマスター検定 | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | パーマ | | | 科目No | BTS18 |
|------------------------------------|---|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 山本真広 | | | | |
| 実務経験教員 | 山本真広 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | イメージを形にする技術力を学びます。国家試験のワインディングの応用型としてパーマ技術を習得し、自分の描いたイメージをフリースタイルで作品として創り上げる。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ベースカット | パーマのベースカットとしてレイヤースタイルを切っていく | | | | |
| Cカール・Sカール作成 | 髪の毛の長さに対しての巻きこみ回転数を考えてカールを作る | | | | |
| 縦巻き・スパイラル作成 | 縦巻きとスパイラルの違いを学んで作成する | | | | |
| ピンパーマ作成 | ロッドの巻けない短い毛に対しての巻き方を学ぶ | | | | |
| ツイストパーマ作成 | ツイストパーマの作成に際して毛束の太さ、捩じり具合を学ぶ | | | | |
| 縮毛矯正作成 | 縮毛矯正の注意点と手順を学ぶ | | | | |
| フリースタイル作成 | 自分の考えたスタイルを自身で考えた手順で作成していく | | | | |
| フリースタイル作成 | 自分の考えたスタイルを自身で考えた手順で作成していく | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| カット道具 ブロー道具 ワインディング道具 タオル | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | ジェルネイル | | | 科目No | BTS19 |
|---------------------------|--|-------|----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 北崎幸子 | | | | |
| 実務経験教員 | 北崎幸子 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | ジェルネイルの特徴・用語について理解を深め、基礎知識を身に付けます。また、基本から可愛いトレンドアートまで、自分でできるようになります。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ジェルネイルについて | 特徴・種類・道具・専門用語について | | | | |
| ネイルケア | ケアの道具、お手入れ方法・爪の形と構造・ネイルケアの種類と手順 | | | | |
| ベースネイル① | 道具の配置・筆の使い分け・道具の準備方法 | | | | |
| ベースネイル② | ベース・カラー・トップジェル塗布・修正方法 | | | | |
| アートネイル① | グラデーション・埋め尽くし・タイダイ・ラメ | | | | |
| アートネイル② | ピーコック・フレンチ・バーツ | | | | |
| オフヒケア | 道具・ファイルの種類・手順・消毒・ディリーケア | | | | |
| 作品制作① | コンテスト作品の企画書・デザイン考案 | | | | |
| 作品制作② | 作品制作 | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| ネイルキッズ式 テキスト 各種プリント | 出席率 | | | 10% | |
| | 取組姿勢 | | | 10% | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | | 80% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | ヘッドアクセ制作＆ヘアアレンジ | | | 科目No | BTS20 |
|-------------------------------------|--|-------|-----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 入江真奈美 | | | | |
| 実務経験教員 | 入江真奈美 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | 成人式や結婚式などイベント等で使用するヘッドアクセサリーを手作りで製作します。製作したものをヘアアレンジに施しサロンワークでも活用できる事を目指します。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| ヘッドアクセサリー① | ヘッドアクセサリー製作 | | | | |
| アイロンワーク | アイロンの知識と使い方 | | | | |
| ヘッドアクセサリー② | ヘッドアクセサリー製作 | | | | |
| アレンジ① | スタイル製作 | | | | |
| ヘッドアクセサリー③ | ヘッドアクセサリー製作 | | | | |
| アレンジ② | スタイル製作 | | | | |
| ヘッドアクセサリー④ | ヘッドアクセサリー製作 | | | | |
| アレンジ③ | スタイル製作 | | | | |
| ヘッドアクセサリー⑤ | ヘッドアクセサリー製作 | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | 評価率 | | |
| アレンジ道具一式 工作はさみ 裁縫道具 各種プリント | 出席率 | | 10% | | |
| | 取組姿勢 | | 10% | | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | 80% | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | カット&ブロー | | | 科目No | BTS21 |
|--------------------------|---|-------|----|------|-------|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 田中健志 | | | | |
| 実務経験教員 | 田中健志 | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | |
| 到達目標 | スタイルの構成を理解し適切な技術を使えるようになることを目的とした選択授業です。写真や画像のスタイルを適切な技術で施術できる力を身に付けます。 | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | |
| カット・ブロー理論・基礎 | カット基礎(シザーの開閉～姿勢/ブラシの使い方)・理論 | | | | |
| ベーシックカット | ワンレンジスカット | | | | |
| ベーシックカット | レイヤーカット | | | | |
| ベーシックカット | グラデーション | | | | |
| スタイルカット2体 | スタイルカット2体 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 教 材 | 評価基準 | | | 評価率 | |
| カット道具 ブロー道具 各種プリント | 出席率 | | | 10% | |
| | 取組姿勢 | | | 10% | |
| | 課題・試験 成果物評価等 | | | 80% | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | |

■ 美容科1年次 選択科目紹介（2025年度入学生）

| 科目名 | 着付け | | | 科目No | BTS22 | | |
|--|--|-------|-----------------|------|-------|--|--|
| 授業形態 | 実習 | 授業コマ数 | 30 | 単位数 | 1 | | |
| 担当教員 | 立川梢 | | | | | | |
| 実務経験教員 | 立川梢 | | | | | | |
| 実務内容 | サロン実務経験者 | | | | | | |
| 授業の概要 | 多様な選択科目の中から自分の興味・関心・適性に合わせた選択科目があり、多くの選択肢の中から将来の道を自分で探しながら学習をしていきます。 | | | | | | |
| 到達目標 | サロンで着付けのアシスタントができるようになる。お客様に着物について説明ができる。お客様の着物がたためる。着換えの手伝い、小物の整理整頓、管理ができる。 | | | | | | |
| テーマ | 内 容 | | | | | | |
| 着物を知る | 着物の小物配布 | | | | | | |
| 小物の名称、道具の使い方 | 道具の説明、名称を学ぶ | | | | | | |
| 体型補正の理解 | 体型補正の意味、やり方を学ぶ | | | | | | |
| 肌襦袢、長着の着せ方 | 体型補正のやり方、長着の着せ方の学ぶ | | | | | | |
| 肌襦袢、長着、帯の結び方① | 肌襦袢から長着の復習 | | | | | | |
| 肌襦袢、長着、帯の結び方② | 帯結びの説明 | | | | | | |
| 肌襦袢、長着、帯の結び方③ | 帯結びを相モデル | | | | | | |
| 着付けローブレ | 体型補正から帯結びのまでを相モデルで行う | | | | | | |
| 着付けテスト | 20分で着付けのテストを行う | | | | | | |
| 教 材 | | | 評価基準 | 評価率 | | | |
| 着付け一式 日本理容美容センター 教科書 美容技術理論2・美容実習2 各種プリント | | | 出席率 | 10% | | | |
| | | | 取組姿勢 | 10% | | | |
| | | | 課題・試験 成果物評価等 | 80% | | | |
| 関連資格・検定 コンテスト等 | | | | | | | |